

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公開番号】特開 2008-19458 (P2008-19458A)

【公開日】平成 20 年 1 月 31 日 (2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2008-004

【出願番号】特願 2006-190097 (P2006-190097)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/14 (2006.01)

C 2 3 C 14/24 (2006.01)

H 0 1 M 4/04 (2006.01)

H 0 1 M 4/40 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/14 D

C 2 3 C 14/24 D

H 0 1 M 4/04 Z

H 0 1 M 4/40

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 20 日 (2009.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リチウムまたはリチウム合金の気体粒子を生成する気体粒子生成部と、
前記気体粒子生成部で生成されたリチウムまたはリチウム合金の気体粒子から基材上に
リチウム金属またはリチウム合金の膜を成膜する成膜部と、
前記気体粒子生成部に、リチウム金属またはリチウム合金のワイヤを供給するための供
給部と、
少なくとも表面部が高分子樹脂を主成分とする材料によって構成され、前記供給部から
前記気体粒子生成部まで前記ワイヤを送るためのロール部材と、
を備えている、成膜装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の成膜装置において、
前記ロール部材の少なくともフランジ部の全体が、前記高分子樹脂を主成分とする材料
によって構成されている、成膜装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の成膜装置において、
前記高分子樹脂は、ポリプロピレン、ポリエチレンおよびポリエチレンテレフタレート
から選ばれる少なくとも 1 つの材料を主成分とする材料によって構成されている、成膜装
置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の成膜装置において、
前記高分子樹脂を主成分とする材料は、無機フィラーを含有している、成膜装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の成膜装置において、

前記成膜部は、シート状の基材を連続的に送る機構を有している、成膜装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の成膜装置を用いて基材上に成膜する成膜方法。